

スローガン

伝えようこの街の魅力も ～縦と横の繋がりを生かして～

1 はじめに

改めて振り返ると2017年は私にとって例年以上に時の流れが速くあっという間に過ぎ去ってしまった一年でした。2016年の秋頃、理事長を受けるにあたって私の頭の中は期待と不安が入り混じっていました。50人を超えるメンバーの頂点に立ち団体を運営していく期待感と青年会議所の理事長を全うできるかという不安です。いざ、理事長職についてみると、同じ境遇で悩み意見を交換できる同期の理事長の仲間との出会い。調布青年会議所の理事長だからこそ招待される会議や式典に出席することで多くの刺激を受け、自分自身にもプラスになり自己成長に繋がりました。様々な経験を積むことで私自身の縦と横の繋がりをこの一年でとても大きく広げることができました。

青年会議所とは、数字に表すと評価が難しい運動をしている団体です。しかし、一つ一つの経験が数字には表せないほど自分自身の大きな経験となる場、それを改めて感じることができた一年でした。

2 中長期ビジョンの実現に向けて

中長期ビジョンのスローガン「調布に恋する市民があふれるまちへ～世界に誇れる調布のために～」を実現させるためにどうすべきかを考え所信を書き始めました。世界3大会といわれる大きなスポーツイベント、2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック。全国から世界中から調布が注目され、多くの人が集まる機会。このまちの魅力を伝え、まちを更に発展させるチャンスです。ここで何もアクションを起こさないのはまちの問題点だ。と感じ私は2017年度の所信を書きました。今から準備を始めれば、今ある以上にこのまちの魅力を伝えることができる。準備はできるだけ早く行い。できることならば、オリンピックが終わった2020年以降も調布の魅力を知りこのまちを再び訪れる人を増やせないか。もっと自分の住む町が全国、世界中から注目されたい。そうなれば市民は自分のまちを誇らしく感じ、まちが活気づくのではないか。そのような思いを込め所信を書きました。

3 街の魅力を伝えるスポーツツーリズムの振興

スポーツツーリズムは、様々な形でスポーツイベントを楽しむだけでなく、イベント開催先の文化的な資源や地域の人々との交流を含んだ観光を楽しむスタイルです。私が書いた所信の核となる部分を表現してくれたのが6月例会でした。調布におけるスポーツツーリズムとは何か。調布に住む人にとってすでに定番化している観光地「深大寺」。ここをもう一度クローズアップして調布市市内に住む住民ではなく、市外に住む人を招待して深大寺は観光地としてどのように思われているのか検証しました。また、日本人だけではなく日本に滞在している外国人を一般来場者として招待して外国人からみた視点も検証しました。深大寺を見学後、味の素スタジアムに移動してラグビーの国際試合日本対アイルランドを観戦。調布青年会議所メンバーにラグビーの国際試合を目で見て感じてもらうことで会場の雰囲気、サッカーとは違うラグビー独特の観客の観戦の仕方を感じることが出来たと思います。試合終了後、サッカーの試合同様調布のまちは多くの観戦客であふれかえっていました。この賑わいが2019年にも再現されます。その時には会場と調布のまちがもっと多くの外国人観光客で溢れかえり、より国際色豊になると思われます。その一部を感じられる機会を得られただけでも大きな収穫だったと思います。

10月例会は「知っておきたい調布の福祉」と題してオリンピックだけでなく、パラリンピックに出場する障害者の

生活について触れた例会でした。2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック。調布市内にもパラリンピアンが在住しています。しかし、残念なことにパラリンピックで開催される競技はオリンピックがあるとき以外はなかなか注目されません。そのような状況でもパラリンピックに出場するために資金が無い中、障害者はあらゆる苦難を乗り越え鍛錬し挑戦し続けています。商工会青年部との合同例会青年経済人会議。福祉のことが分からない。身近に福祉と触れ合うことが無いという理由から誰も踏み込めない領域に挑戦したのが11月例会でした。2017年度は調布青年会議所から大澤副委員長が青年経済人会議の実行委員長に就任し青年経済人会議をまとめました。パラリンピックに出場した選手を招待し、オリンピック競技ポッチャの実演だけではなく、電気通信大学が研究している障害者をサポートする最先端の医療器具、障害者を支援するための施設の活動、雇用の現状・生活など機会がなければ経験出来ない福祉のことをまとめて知ることが出来ました。この私たちの運動を聞いて、調布市が共催させてほしいと申し出てきたことにはとても驚きました。色々な事情があり行政が積極的に運動できないことを青年会議所が実施できている。ここに私は青年会議所の存在意義があると思います。これこそ青年会議所がやるべきことではないのかと強く感じました。

4 未来へ向けた夢を抱く青少年の育成

毎年開催しているわんぱく相撲調布場所も今年で41回目を数えることになりました。その積み重ねか、2018年度調布市内の催し物を紹介する雑誌に5月の催し物としてわんぱく相撲が掲載されることになりました。青年会議所を紹介するときにわんぱく相撲の大会運営をしています。と言うと一般の方がなるほどあの大会か、あの大会を運営しているのかという顔をします。今では青年会議所の紹介にとっても役立つ事業の一つです。継続して続けることの重要さを感じます。

2017年度のわんぱく相撲は調和小学校で開催しました。調和小学校は調布市と狛江市の市境にある学校です。狛江青年会議所の協力で狛江市内の小学校に参加申し込みのチラシを配布した結果、本年度は狛江市からの参加者が多く例年の参加者を上回り260人の小学生を集めることが出来ました。メンバーの熱心な動員活動はもちろん、狛江青年会議所の協力もあり参加者が増える結果に繋がったと思います。真剣勝負だからこそ生まれる勝って泣き、負けて泣く子供達の涙。2017年度も大人の心を魅了させることが出来る「スポーツの力」を沢山感じる事が出来ました。疲労は溜まり翌日の仕事に影響は出ますが、メンバー全員に役割が与えられ総動員で設営・運営を行うわんぱく相撲は達成感を感じやすく、毎年運営側、参加者側どちらも最後に笑顔になる例会です。また、広い調和小学校のグラウンドをふんだんに使ったアトラクションは地元のアメリカンフットボールクラブ、リクシルディアーズの協力や各団体の協力もあり、多様なイベントが開催され相撲のみならず来場者を飽きさせない且つ地域性を感じる設営に成功したと思います。

未来へ向け夢を抱く少年というテーマで最先端の機械に目を向けたのが11月例会でした。中学生を対象に近年話題のドローン、セグウェイを利用してどのようなことができるのか。講師を依頼して利用の仕方、可能性について話して頂き、実際に操作することで参加した青少年の夢を広げるのが目的の例会でした。ところが、衆議院選挙がからみ会場決めが難航。なんとか会場を抑え、理事会の審議を通過しましたが、例会当日は生憎の雨。一般来場者がどれくらい来るのか不安でしたが会場の中学校の協力もあり、参加者が増え無事例会を開催することが出来ました。ドローン、セグウェイは映像では見たことがありますがなかなか使用する機会がありません。日本国内ではまだまだ規制が多く、自由に扱える機械ではありません。しかし、ビジネスの現場では活躍し始めています。講義では最先端の機械を有効利用することで、今までできなかったことが短時間で正確にできる事例も聞くことが出来ました。その一方でこれらの機械が普及、発達することによって人間の雇用が減る問題が浮かび上がっている事実も聞くことが出来ました。夢を与えるだけでなく良いことも、悪いことも含めて考えさせられる素晴らしい例会だったと思います。

5 新たな人材の発掘と LOM の結束力の強化

調布青年会議所の正会員数は年々減少しています。2017 年は 5 人、2018 年には大量の 13 人が卒業予定のなか本年度は 12 人の会員拡大に成功しました。しかし、残念なことに年末に 2 人退会者が出てしまいました。正会員数は増えましたが今後のことを考えるとまだまだ予断を許さない状況です。

今年の拡大委員会遠藤委員長には会員相互の結束力を高めることに力を注いでほしいと年当初から話し合っていました。4 月のシニアクラブとの懇親会、日本青年会議所の 3 大会議サマーコンファレンスを例会の場にした 7 月例会、12 月の卒業例会と会員の懇親を深めることを目的にした例会。懇親の場ばかりだったかもしれません。しかし、人をもてなすことも立派な役割です。人を楽しめさせることが出来なくては自分も楽しむことはできません。青年会議所運動をするうえでとても重要であり、今後様々な場に生きてくると思います。拡大委員会が主催する例会は常に笑顔があり、参加することによりメンバー同士の結束力が高まったように感じます。2017 年度を盛り上げるのに大きな役割をしてもらいました。2017 年度入会した新入会員が 2018 年の理事に名を連ねています。今後の調布青年会議所のことを考えると次の世代が理事の手を挙げてくれることは、会員拡大に成功したのだと思います。本年度素晴らしいメンバーが入会してくれました。東京ブロック大会誘致を目指している 2020 年に向けて調布青年会議所が更に活気づく期待を感じる会員拡大でした。

調布青年会議所の活動内容を多くの人に周知してもらうための情報発信を総務委員会に任せました。途中組織編成があり、多大な苦勞を薄井委員長にかけましたが独自の視点で考え出した「あすの調布」の構成は素晴らしかったです。人の目を惹くことは興味を持ってもらえることです。物づくりの原点。大事にすべきことだと思います。また、マンネリしつつも毎回段取りを守り、緊張感のあった総会の運営は今後も引き継いで頂きたいです。

6 次代につなげるための公益制度に対する理解の普及と組織再確認

調布青年会議所は 2012 年に一般法人から公益法人に移行し、5 年経過しました。公益法人に移行して以来、常に理事会でこれは「公益事業か？」と議論になることに無駄を感じ、公益法人について見つめなおそうと考え本年度取り組みました。公益法人については取得した全国の青年会議所で運営がうまくいかず問題として取り上げられています。取得した 2012 年以降に入会したメンバーは、公益法人を取得する前と取得した後の違いは分からず、青年会議所とはこういうものだという感覚で運動していると思います。少し語弊があるかもしれませんが簡単に書くと細かい規則や書類がなく、自分たちの思い通りに予算を消化しお金の使い道に行政から指導が入らなかったのが公益法人を取得する前、法律に則った規則が厳しく、行政からお金の使い道をはじめ細かい指導を受けたようになったのが公益を取得した 2012 年以降、その差は全国の青年会議所のメンバーが想像していた理想の公益と現実との違いになり問題に変わりました。実際に公益制度に対応できず警告処分を受けている青年会議所もあります。公益を取得することで規制が厳しくなるのは当然のこと、それが公益法人格を国が作った目的です。そもそも青年会議所が勉強不足で取得に動いたのが大きな問題だと私は思います。3 月例会では先輩方を講師としてお招きして公益について討論して頂きました。とてもためになり、迷わず自分たちの芯を貫けば公益制度とうまくお付き合いして運営できるのではと私自身も感じました。しかし、現実には甘くありませんでした。一年間公益法人について勉強し、実際に行政の立ち入り検査を受けた結果、改めて青年会議所のシステムと公益法人のシステムの違いを感じ 1 つの LOM が公益法人を維持するには負担がかかる作業が多すぎると感じました。しかし、一度取得してしまったものを返還するにはリスクが大きく簡単には戻せません。現在はうまく付き合う方法を模索しています。公益社団法人としてまずは期日を守り、法に基づき必要な書類を揃える。最低限の作業をいかに円滑に誰でもできるシステムを作るのが今の課題だと思います。私は公益法人という資格を持つ団体ならば、現在は受けていない税制優遇を受ける運営にするのも一つの方法だと思います。それでは JC らしくないという意見もありますが時代が変われば方法も変わる。今後、少子化、後継者不足により青年会議所の人数は間違いなく減ります。そのような未来に対応するためにも新たな青年会議所のスタイルを見つけ出す時なのかもしれません。

7 終わりに

まず、理事長所信を書くことから始まった約一年と3か月。私が今までに感じてきた自分のまちへの思い、調布青年会議所への思いを順番に落とし込んでいきました。このまちは日に日に姿を変え大きな商業施設、都市計画道路が次々に誕生しています。数年前に比べ、都心に行かずとも駅前に行けば物が揃うようになり、調布駅の下車数は京王線で新宿駅に次いで2番目、東京の多摩地区で最も移り住みたいまちに選ばれるようになりました。再開発が進む一方、駅から少し離れると多くの自然が残っていて、歴史的文化遺産や和の食文化を体験できるのがこのまちの魅力の一つです。自然に囲まれた環境で子育てをしたいとおもう家庭に人気のまちです。調布は魅力的なまちに変わってきました。明確に形に見えないですが青年会議所の先輩方の運動が所々に生きているのは事実です。

2017年、一年間を通じて一番強く感じたことは、青年会議所は機会の提供の場であることです。青年会議所に所属していると調布だけではなく、東京、全国、世界に多くのメンバーがいるため多くの機会の提供の場に出会うことができます。見る機会、知る機会、経験する機会、機会には様々な機会があります。それは物事に興味を持たなければ得ることが出来ません。それには自ら考え動き出すことが必要です。自ら考え動き出すことは小学校の学校教育でも求められています。学校の先生の授業を静かに聞いていればいいのではない。自分で疑問を持ち発言することが重要です。それができる子が今後の未来を背負っていく人間になると教育現場で言われています。日本人に足りない部分です。青年会議所は自ら問題点を考え議論し実行に移す団体であり学び舎でもあります。40歳で卒業を迎えるまで、多くのことを学び社会に貢献できる人間になるため、常に自らの力で考え行動に移せるリーダーシップのとれる青年になりましょう。

1年間ありがとうございました。

【 事 業 報 告 】

I. 事業

1. 地域社会の健全な発展や、文化及び芸術の振興に資する事業（定款第5条第1項第1号事業）

(1) 2019～2020年に向け調布の魅力、文化、伝統を発信する例会の開催 /主催事業（まち委員会 2017）

事業名称： 公益社団法人調布青年会議所 2017年度 6月例会
調布スポーツツーリズム体験ツアー
開催日時： 2017年6月24日(土) 10:30～17:00
開催場所： 調布駅～深大寺（そば）・神代植物公園～味の素スタジアム
参加員数： 正会員41名、オブザーバー1名、一般参加者41名
事業内容： 調布のスポーツツーリズム（様々な形でスポーツイベントを楽しむだけでなく、イベント開催先の文化的な資源や地域の人々との交流を含んだ観光を楽しむスタイル）について検証しました。
調布市が誇る観光地である深大寺、神代植物公園、味スタ間をバスで繋ぎ、体験→インタビュー調査・行政や関連団体への調査結果の共有、結果を基にした提案→調布市の観光資源及びそれらを繋ぐ仕組み（味スタでスポーツイベント開催日の【深大寺・植物公園～味スタ間のバス往復便】などの必要性）について確認し、調布市や観光に関わる団体にスポーツツーリズムの重要性を認識してもらうことを目指しました。

(2) あすの調布の発行 /主催事業（総務委員会 2017）

発行月： 1月、4月、7月、10月、12月（11・12合併号）
配布先： メンバー、特別会員、賛助会員
事業内容： 年5回の広報誌を発行致しました。基本となる例会報告に加え、今年は出向者の活躍を紙面に掲載するようにしました。特に普段メンバーにあまり知られていない出向状況を知ってもらうことにより、調布青年会議所メンバーが様々な場所で活躍している様子を発信しました。

(3) HPの改善・管理・更新 /主催事業（総務委員会 2017）

開催日時： 2017年度通年
事業内容： これまで踏襲してきた基本ベースを活かしつつ、更新作業をしてきましたが、更新の遅延が多くありました。HPを上手に活用出来れば青年会議所の活動を正確に伝えられますので、発信が怠らないよう尽力頂きますようお願い致します。

(4) 調布市福祉まつりへの参画 /参画事業（青少年委員会）

事業名称： 第40回調布市福祉まつりへの参画
開催日時： 2017年12月2日(土) 9:30～14:00
開催場所： 調布市役所前庭
参加員数： 正会員13名、一般参加者175名
事業内容： 第40回「調布市福祉まつり」の趣旨に賛同し、地域の福祉に役立ててもらうためにちゃんこ鍋の販売し、販売収益の寄付を行いました。例年同様、他団体の交流、調布JCのPTの機会を与えて頂き、今後の地域で円滑な運動に寄与出来たと考えます。

2. 地域産業経済に関する調査研究及び地域産業経済の健全な発展に資する事業（定款第5条第1項第2号事業）

(1) 青年経済人会議の実施 /共催事業（まち委員会 2017）

事業名称： 公益社団法人調布青年会議所 2017年度 11月例会
調布青年経済人会議 2017

ーパラリンピックが来る前にー 知っておきたい調布の福祉

開催日時： 2017年11月19日(日) 13:00～16:00
開催場所： 国立大学法人電気通信大学 B棟
参加員数： 正会員40名、特別会員5名
調布商工会議所青年部 部員21名(重複者11名含む)、
協力団体24名、一般参加者108名 合計187名

事業内容： ●事業概要
5団体のブース出展をベースに、2回のフォーラムを行い、障害理解を深めました。

●フォーラム

2回のフォーラムでは、「障害者とは」というストレートな内容ではなく、若手経営者が興味を示すテーマに絞って行いました。

フォーラム1：「知って得する障害者雇用」

(内容) 今後、事業所が知っておくべき障害者雇用にまつわるトークを質疑応答形式で行いました。登壇者は障害者雇用にバックアップするプロの相談支援員であり、彼等から障害者が雇用されるまでの流れや、障害者雇用の成功体験、雇用後のアフターフォローについてなどを語ってもらいました。事前アンケートで出た内容なども盛り込み、聞きたいことを生で聞ける設えとしました。

フォーラム2：「共生社会の実現に向けて ー合理的配慮ってなに?ー」

(内容) 登壇者は障害当事者・社協・市役所の職員で、障害者が実際にお店や街に出たときに、どういったことに困っているのか、またどのような助けが必要なのか、または必要ないのかをざっくばらんに語ってもらいました。障害福祉課や社協の職員には、障害者にまつわる法制度を説明してもらい、自分達の店舗で出来るバリアフリーなどを紹介しました。フォーラム1と同様に事前アンケートを元に、トーク内容を充実させました。

●ブース

ブース出展では、障害者雇用・ポッチャ体験・作業所製品の展示販売と映像上映・視覚障害者体験・電通大の展示と、各ブースとも説明者を配置し、効率よく来場者が見学できるようにしました。三ヶ所以上のブースを見学したら景品を進呈しました。(景品：福祉作業所のクッキー)

3. 次世代を担う児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業(定款第5条第1項第3号事業)

(1) わんぱく相撲調布場所の開催 / 主催事業(青少年委員会)

事業名称： 公益社団法人調布青年会議所 2017年度 5月例会
第31回わんぱく相撲調布場所

開催日時： 2017年5月14日(日) 7:00～18:00

開催場所： 調布市立調和小学校

参加員数： 正会員46名、オブザーバー2名、調布・狛江市内の小学生257名及び保護者

事業内容： 第31回わんぱく相撲調布場所は、前年同様これまで開催したことのない調布市立調和小学校に於いて開催させて頂きました。狛江からのアクセスも良く例年以上に狛江市内の参加児童、毎年若干名の参加であった調和小児童の参加増に寄与することが出来ました。

広い校庭を有効利用するべく調布の自然を活用したアトラクションも用意し、相撲に参加した児童のみならずそのご家族、ご兄弟で最後まで楽しむことが出来るわんぱく相撲を実現することが出来ました。

(2) 2019～2020年に向けて青少年が夢を抱く例会の開催 / 主催事業(青少年委員会)

事業名称： 公益社団法人調布青年会議所 2017年度 10月例会
“ぼくみら”ぼくらの未来～AIが招く未来のこと～

開催日時： 2017年10月21日(土) 13:00～16:00

開催場所： 調布市立第六中学校

参加員数： 正会員28名、来訪JC1名、オブザーバー1名、
調布市内小中学生19名及び保護者

事業内容： 数年後の近い未来に自動運転技術が実用化され、AI が発達する等、これまでの産業革命を凌駕する勢いで私たちが取り巻く環境が一変する世界が到来する中で、これまでの常識や仕事に対する考え方を改めてゆく必要がある為、これからの将来に対して色々と考えていく中学生を中心に、様々な技術転用の可能性を秘めているドローンをはじめとして、翻訳アプリやセグウェイなどの技術に触れてもらいながら学び新しい夢や将来像を描いてもらうための例会を開催致しました。

4. 地域を牽引する人材を育成する事業（定款第5条第1項第4号事業）

※該当事業無し

5. 新年度の運動方針を発表する事業（定款第5条第2項第3号事業）

（1）新春地域懇談会の開催 / 主催事業（総務委員会 2017）

事業名称： 公益社団法人調布青年会議所 2017 年度 1 月例会
公益社団法人調布青年会議所並びに同シニアクラブ合同
2017 年度新春地域懇談会

開催日時： 2017 年 1 月 18 日(水) 18:30～21:00

開催場所： 調布市グリーンホール 小ホール

参加員数： 正会員 44 名、特別会員 45 名、来賓 41 名、オブザーバー 1 名

事業内容： 公益社団法人調布青年会議所が日頃関わりのある地域行政、関連団体、個人の方々
と新春の慶びを交歓する事を目的とし、公益社団法人調布青年会議所 2017 年度
の運動方針、ビジョンを地域の方々へお伝えし、より良い街づくりの為に連携し、
地域活性化する為の交流の場を提供致しました。
地域から必要とされる魅力的な団体と知って頂くために、調布青年会議所の取り組
みや魅力を動画にて発信しました。

6. 事業年度毎に事業年度を振り返る事業（定款第5条第2項第4号事業）

（1）卒業例会・納会の開催 / 主催事業（拡大委員会）

事業名称： 公益社団法人調布青年会議所 2017 年度 12 月第二例会
卒業例会・納会

開催日時： 2017 年 12 月 10 日(日) 14:30～19:30

開催場所： 調布クレストンホテル クラウンルーム・クレストンルーム

参加員数： 正会員 47 名、特別会員 25 名

事業内容： 青年会議所運動を精一杯行ってきた 5 人のメンバーが卒業を迎えました。卒業生
の今までの運動と 2017 年度の一年間の活動を振り返り、本年度調布青年会議所
が縦と横の繋がりを生かし、この街の魅力を一人でも多くの人に伝えることができ
た事を先輩諸兄や地域の皆様に知ってもらう機会として開催致しました。
一部の卒業式では、卒業生の現役時代を振り返り熱い思いを語って頂きました。二
部の納会では一年の事業の振り返りを中心に、拡大委員会が一丸となりアトラクシ
ョン・設営を行うなど、今年の拡大委員会の色をだし、2017 年度最後の例会を
締めくくりました。

7. その他本会の目的を達成するために必要な事業（定款第5条第2項第5号事業）

（1）公益制度について考える例会の開催 / 主催事業（専務室）

事業名称： 公益社団法人調布青年会議所 2017 年度 3 月例会
激論！このままでいいのか調布 JC！ ～ 朝まで！？生例会！ ～

開催日時： 2017 年 3 月 14 日(火) 19:30～21:50

開催場所： 調布市市民プラザあくろす 3F「あくろすホール」

参加員数： 正会員 31 名、特別会員 5 名、オブザーバー 1 名

事業内容： 公益法人格取得して 5 年が経過し、取得時の経緯を知るメンバーが少なくなりつ

つある今だからこそ、公益制度への向き合い方や、公益社団法人である青年会議所としての今後の在り方をメンバーに提起する機会として開催しました。
四部制に分け、第一部では初代理事長である早川先輩から創始の精神を学び、第二部では3名の歴代理事長によるパネルディスカッションから過去のJCの在り方を聴き、第三部では現在の調布青年会議所に特に影響している公益制度を知り、第四部ではメンバー同士の考えを共有するためのグループディスカッションを行いました。

(2) シニアクラブ合同懇親会の開催 / 主催事業 (拡大委員会)

事業名称： 公益社団法人調布青年会議所 2017年度 4月例会
瀧柳観光バスツアー ～交流祭 2017～

開催日時： 2017年4月23日(日)
バスツアー 16:00～18:45
大宴会 19:00～21:20

開催場所： バスツアー「市内各所」 大宴会「鮎宿」

参加員数： 正会員 38名、特別会員 31名

事業内容： 事業は2部制の形をとり、一部は市内観光バスツアーとし、市内各所を大型観光サロンバスで廻りました。道中のシニアメンバー、現役メンバーの職場や自宅を観光名所として紹介していきました。多摩川住宅では今年から解体が始まる調布が誇るマンモス住宅である多摩川住宅の中央棟、ロ-16号棟の中を散策して頂き、建て替え協議が行われている歴史ある多摩川住宅が抱える問題など学んで頂きました。深大寺では、バスを降りてすぐの蕎麦屋にて軽食をとって頂き、バスで移動中もアルコールを含む飲食をご用意して、サロンバス内で和やかな懇親が進むようにして参りました。
バスの終着地点を柴崎の飲食店鮎宿にし、到着約15分後の19:00から二部の大宴会を開催致しました。

(3) メンバーの親睦を深め、メンバーの結束を高める例会の開催 / 主催事業 (拡大委員会)

事業名称： 公益社団法人調布青年会議所 2017年度 7月例会
サマーコンファレンス 2017in 調布 ～サマコン横浜で横のつながりを～

開催日時： 2017年7月22日(土) 15:00～翌日 10:50

開催場所： パシフィコ横浜、エスカル横浜

参加員数： 正会員 35名、オブザーバー2名

事業内容： 青年会議所運動の最大の発信の場であるサマーコンファレンス 2017 にメンバー全員で参加しました。また結束力を深めるという観点よりサマコンへの参加から横浜中華街でのLOMナイト、横浜での宿泊を要する例会とし、宿泊においては4人1部屋を確保し、役職・委員会を超えた部屋割りにし懇親を深めました。
主には交流を深めるという観点に重視をしながらも、日本青年会議所の三大大会であるサマーコンファレンスに参加し、諸大会の雰囲気、また開催時の街の雰囲気をメンバー全員で体感できる事業にしました。長時間にわたるグループ行動により調布JC内での新たな関係構築につながった例会となりました。

II. その他

総会の開催 / ※総会報告を参照
理事会の運営 / ※理事会報告を参照

【 総 会 報 告 】

第 6 回定時総会（2 月例会）

- 1、招集年月日 2017 年 2 月 3 日(金)
 - 2、開催年月日 2017 年 2 月 17 日(金)
 - 3、開催場所 調布市文化会館たづくり 映像シアター
 - 4、正会員数 53 名
 - 5、出席正会員数 46 名（本人出席 38 名、委任状出席 3 名、書面表決 5 名）
 - 6、議事
 - 議長選出 大澤宏章君
 - 定足数の確認
 - 議事録署名人選任 加藤ゆか君、熊倉亮君
 - 第一号議案 公益社団法人調布青年会議所 2016 年度 事業報告承認に関する件
 - 第二号議案 公益社団法人調布青年会議所 2016 年度 決算報告承認に関する件
 - 第三号議案 公益社団法人調布青年会議所 2017 年度 補正予算（案）承認に関する件
 - 第四号議案 公益社団法人調布青年会議所 2017 年度 組織図変更承認に関する件
- 以上全議案可決承認

臨時総会（9 月例会）

- 1、招集年月日 2017 年度 8 月 28 日(月)
 - 2、開催年月日 2017 年度 9 月 27 日(水)
 - 3、開催場所 調布市民プラザあくろす 3F 会議室
 - 4、正会員数 56 名
 - 5、出席正会員数 48 名（本人出席 40 名、委任状出席 1 名、書面表決 7 名）
 - 6、議事
 - 議長選出 宮澤学君
 - 定足数の確認
 - 議事録署名人選任 峯水延浩君、渡邊涼介君
 - 第一号議案 公益社団法人調布青年会議所 2018 年度 理事長選挙当選者承認に関する件
 - 第二号議案 公益社団法人調布青年会議所 2018 年度 役員予定者承認に関する件
- 以上全議案可決承認

臨時総会（12 月第一例会）

- 1、招集年月日 2017 年 11 月 22 日(水)
 - 2、開催年月日 2017 年 12 月 6 日(水)
 - 3、開催場所 調布市文化会館たづくり 1002 学習室
 - 4、正会員数 56 名
 - 5、出席正会員数 49 名（本人出席 42 名、委任状出席 5 名、書面表決 2 名）
 - 6、議事
 - 議長選出 畑野政大君
 - 定足数の確認
 - 議事録署名人選任 林慎一郎君、峯水延浩君
 - 第一号議案 公益社団法人調布青年会議所 2018 年度 理事長承認に関する件
 - 第二号議案 公益社団法人調布青年会議所 2018 年度 役員承認に関する件
 - 第三号議案 公益社団法人調布青年会議所 2018 年度 組織図（案）承認に関する件
 - 第四号議案 公益社団法人調布青年会議所 2018 年度 事業計画（案）承認に関する件
 - 第五号議案 公益社団法人調布青年会議所 2018 年度 収支予算（案）承認に関する件
- 以上全議案可決承認

【 理 事 会 報 告 】

第 1 回予定者会議

開催日時： 2016年11月21日(月) 20:00~22:00

開催場所： 真光書店北口本店 6F 会議室

審議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 直前理事長選任に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 事業計画(案)承認に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 予算書(案)承認に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 組織図(案)承認に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 1 月例会日時場所承認に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 正会員入会に関する件

協議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 1 月例会について

第 2 回予定者会議

開催日時： 2016年12月22日(木) 20:00~21:45

開催場所： 公益社団法人調布青年会議所 事務局 RoomA

審議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 1 月例会に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 ホームページの管理・更新に伴う予算執行に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 広報誌「あすの調布」の発行に伴う予算執行に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 各クラブの名義使用承認に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 公益制度研究ワーキンググループ設置に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 正会員入会に関する件

協議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 3 月例会について

第 1 回臨時理事会

開催日時： 2017年1月13日(木) 22:00~22:30

開催場所： 公益社団法人調布青年会議所 事務局 RoomA

審議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 正会員入会に関する件

第 1 回理事会

開催日時： 2017年1月26日(木) 20:00~22:00

開催場所： 公益社団法人調布青年会議所 事務局 RoomA

報告審議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 9 月例会に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 11 月例会に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 12 月第一例会に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 12 月第二例会に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 ホームページの管理・更新に伴う予算執行に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 あすの調布の発行に伴う予算執行に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 褒賞委員会設置に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 まちづくりに関する調査研究に伴う予算執行に関する件

審議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 事業報告承認に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2016 年度 決算報告承認に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 補正予算(案)承認に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 組織図変更(案)承認に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 2 月例会に関する件

協議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 3 月例会について
- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 4 月例会について

第2回理事会

開催日時： 2017年2月23日(木) 20:00~22:00

開催場所： 公益社団法人調布青年会議所 事務局 RoomA

審議事項：

(公社) 調布青年会議所 2017年度 3月例会に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017年度 「東日本大震災慰霊祭 2017」後援名義受諾に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017年度 正会員入会に関する件

協議事項：

(公社) 調布青年会議所 2017年度 4月例会について

(公社) 調布青年会議所 2017年度 5月例会について

(公社) 調布青年会議所 2017年度 6月例会について

第3回理事会

開催日時： 2017年3月23日(木) 20:00~22:00

開催場所： 公益社団法人調布青年会議所 事務局 RoomA

審議事項：

(公社) 調布青年会議所 2017年度 4月例会に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017年度 5月例会日時場所承認に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017年度 「2017 アースデイ in 調布」後援名義受諾に関する件

協議事項：

(公社) 調布青年会議所 2017年度 5月例会について

(公社) 調布青年会議所 2017年度 6月例会について

(公社) 調布青年会議所 2017年度 7月例会について

第4回理事会

開催日時： 2017年4月27日(木) 20:00~22:00

開催場所： 公益社団法人調布青年会議所 事務局 RoomA

審議事項：

(公社) 調布青年会議所 2017年度 5月例会に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017年度 「第13回深大寺短編恋愛小説『深大寺恋物語』公募事業」
後援名義受諾に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017年度 正会員入会に関する件

報告審議事項：

(公社) 調布青年会議所 2017年度 1月例会に関する件

協議事項：

(公社) 調布青年会議所 2017年度 6月例会について

(公社) 調布青年会議所 2017年度 7月例会について

第5回理事会

開催日時： 2017年5月25日(木) 20:00~21:30

開催場所： 公益社団法人調布青年会議所 事務局 RoomA

審議事項：

(公社) 調布青年会議所 2017年度 6月例会に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017年度 7月例会に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017年度 理事長選挙管理委員会設置に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017年度 「調布まちなかラグビー」後援名義受諾に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017年度 正会員入会に関する件

報告審議事項：

(公社) 調布青年会議所 2017年度 2月例会に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017年度 3月例会に関する件

第6回理事会

開催日時： 2017年6月22日(木) 20:00~21:00

開催場所： 公益社団法人調布青年会議所 事務局 RoomA

審議事項：

(公社) 調布青年会議所 2017年度 ホームページの管理・更新に伴う補正予算執行に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017年度 「ちょうふグローバルフェスタ」後援名義受託に関する件

報告審議事項：

(公社) 調布青年会議所 2017 年度 4 月例会に関する件

第 7 回理事会

開催日時： 2017 年 7 月 27 日(木) 20:00~22:00

開催場所： 公益社団法人調布青年会議所 事務局 RoomA

審議事項：

(公社) 調布青年会議所 2017 年度 「青年経済人会議」の実施に伴う実行委員会設置並びに予算執行に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017 年度 広報誌「あすの調布」の発行に伴う補正予算執行に関する件

(公社) 調布青年会議所 2018 年度 理事長選挙当選者承認に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017 年度 「第 62 回調布市商工まつり」後援名義受諾に関する件

協議事項：

(公社) 調布青年会議所 2017 年度 10 月例会について

第 8 回理事会

開催日時： 2017 年 8 月 24 日(木) 20:00~22:00

開催場所： 公益社団法人調布青年会議所 事務局 RoomA

審議事項：

(公社) 調布青年会議所 2017 年度 広報誌「あすの調布」の発行に伴う補正予算執行に関する件

(公社) 調布青年会議所 2018 年度 役員予定者承認に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017 年度 9 月例会に関する件

報告審議事項：

(公社) 調布青年会議所 2017 年度 5 月例会に関する件

協議事項：

(公社) 調布青年会議所 2017 年度 10 月例会について

(公社) 調布青年会議所 2017 年度 12 月第二例会について

第 9 回理事会

開催日時： 2017 年 9 月 28 日(木) 20:00~22:00

開催場所： 公益社団法人調布青年会議所 事務局 RoomA

審議事項：

(公社) 調布青年会議所 2017 年度 12 月第二例会に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017 年度 「第 40 回調布市福祉まつり」参画に伴う予算執行に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017 年度 10 月例会に関する件

報告審議事項：

(公社) 調布青年会議所 2017 年度 6 月例会に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017 年度 7 月例会に関する件

第 10 回理事会

開催日時： 2017 年 10 月 26 日(木) 20:00~22:00

開催場所： 公益社団法人調布青年会議所 事務局 RoomA

審議事項：

(公社) 調布青年会議所 2017 年度 11 月例会に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017 年度 褒賞委員会設置及び設置に伴う予算執行に関する件

第 11 回理事会

開催日時： 2017 年 11 月 22 日(水) 20:00~21:15

開催場所： 公益社団法人調布青年会議所 事務局 RoomA

審議事項：

(公社) 調布青年会議所 2018 年度 直前理事長選任に関する件

(公社) 調布青年会議所 2018 年度 事業計画(案)承認に関する件

(公社) 調布青年会議所 2018 年度 予算書(案)承認に関する件

(公社) 調布青年会議所 2018 年度 組織図(案)承認に関する件

(公社) 調布青年会議所 2017 年度 12 月第一例会に関する件

(公社) 調布青年会議所 2018 年度 1 月例会日時場所承認に関する件

(公社) 調布青年会議所 2018 年度 ホームページの管理・更新に伴う予算執行に関する件

- (公社) 調布青年会議所 2018 年度 広報誌「あすの調布」の発行に伴う予算執行に関する件
 - (公社) 調布青年会議所 2018 年度 各クラブの名義使用承認に関する件
- 報告審議事項：
- (公社) 調布青年会議所 2017 年度 9 月例会に関する件

第 12 回理事会

開催日時： 2017 年 12 月 21 日(木) 21:35~22:00

開催場所： 公益社団法人調布青年会議所 事務局 RoomA

審議事項：

- (公社) 調布青年会議所 2018 年度 1 月例会に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2018 年度 第 49 回東京ブロック大会主管立候補検討委員会設置に関する件
- (公社) 調布青年会議所 2018 年度 正会員入会に関する件

【 理 事 会 出 席 表 】

○：出席 ×：欠席 ▲：遅刻早退

回数	予1	予2	臨1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
月/日	11/21	12/22	1/13	1/26	2/23	3/23	4/27	5/25	6/22	7/27	8/24	9/28
理事会出席率	86	81	76	81	85	85	100	100	95	90	100	95
理事会出席数	18	17	16	17	17	17	20	20	19	18	20	19
瀧柳 伸央	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川端 宏志	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
畑野 政大	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	▲	○
巴山 勝済	▲	×	○	○	○	×	○	▲	○	○	○	○
高橋 秀幸	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
増田 健治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宮澤 学	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
峯水 延浩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
菅 寛人	×	▲	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
高橋 裕二	○	×	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○
遠藤 大貴	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
熊倉 亮	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
渡邊 涼介	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○
境屋 奈央子	×	×	×	×								
薄井 麻希子	○	○	○	○	×	○	▲	○	○	○	○	×
佐保田 豊太	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
林 慎一郎	×	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○
志村 郷親	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大澤 宏章	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
加藤 ゆか	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
粕谷 洋亮	○	○	×	○	○	×	○	○	○	▲	○	○
セクレタリー	白鳥	齊藤	齊藤	清水	長谷	渡邊	山口	馬部	納野	西村	内野	荒井

※「予」は予定者会議、「臨」は臨時理事会を表す。
 ※境屋奈央子君は、2月17日の定時総会（2月例会）をもって退任。

10	11	12	合計	出席率	回数
10/26	11/22	12/21			月/日
90	75	100	89		理事会出席率
18	15	20	271		理事会出席数
○	○	○	15 /15	100	瀧柳 伸央
○	○	○	15 /15	100	川端 宏志
○	×	○	12 /15	80	畑野 政大
×	×	○	11 /15	73	巴山 勝済
○	○	○	14 /15	93	高橋 秀幸
○	○	○	15 /15	100	増田 健治
○	○	○	15 /15	100	宮澤 学
○	×	○	14 /15	93	峯水 延浩
○	○	○	12 /15	80	菅 寛人
○	○	○	11 /15	73	高橋 裕二
○	○	○	14 /15	93	遠藤 大貴
○	○	○	15 /15	100	熊倉 亮
○	×	○	14 /15	93	渡邊 涼介
			0 /4	0	境屋 奈央子
▲	○	○	13 /15	87	薄井 麻希子
○	○	○	14 /15	93	佐保田 豊太
×	×	○	12 /15	80	林 慎一郎
○	○	○	15 /15	100	志村 郷親
○	○	○	13 /15	87	大澤 宏章
○	○	○	14 /15	93	加藤 ゆか
○	○	○	13 /15	87	粕谷 洋亮
山田	清水	堀内			セクレタリー

【 役 員 報 告 】

副理事長 高橋 秀幸

2017年度は正副の一員として、まち委員会2017の一員として、初めての副理事長職を務めさせて頂きました。担当した3月・6月・11月例会3事業ともに華やかさに欠ける事業でありましたが、個人的には、3事業とも青年会議所に足りない部分と必要な部分を補ってくれた大変意義のある事業であったと考えています。この正副メンバーと委員会メンバーとともに、熱い議論を交わしながら一生懸命になって事業を作りあげてくれたことを誇りと思える一年となりました。このような機会を与えてくれた瀧柳理事長、渡邊委員長、大澤委員長、加藤副委員長、まち委員会皆様、正副皆様にこの場を借りて感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

副理事長 巴山 勝済

2017年度は青少年委員会の担当副理事長を受けさせて頂きました。担当例会は5月のわんぱく相撲と10月例会、福祉祭りの参画の3事業を担当しました。新任理事の熊倉委員長や志村副委員長の基、私自身の成長を感じさせて頂きました。それは志村副委員長から言われた「熊倉委員長は巴山さんに激似ですよ!」の一言でした。10月例会上程で議論が白熱した時の一言でした。最初言われた時は大きな否定をしましたがその夜、2016年度のことを振り返ってみたら、確かに「似てるかも!」と志村副委員長の言葉を受け入れました。すると次の会議から熊倉委員長が可愛くなって見えてきました。

私は人が成長する為に必要な事柄は沢山あると思いますが、その中でも自分を受け入れることが非常に重要だと思います。それを2017年度は気づかせて頂きました。自分のことを指摘してくれることがどれだけ重要か、また常に指摘してくれる自身の姿勢も非常に重要だと感じました。2018年度は山と川に挟まれて、もうお腹一杯でこれ以上のご指摘は苦しいですが残り1年、目一杯頑張ります。ただこの言葉を言うと「言葉は要らないから、結果を見せてほしい」と、ありがたいお言葉を現在頂いています。

副理事長 畑野 政大

本年度は副理事長として拡大委員会を担当させて頂きました。

本年度一番の課題であった拡大事業ですが、遠藤委員長をはじめとする委員会メンバーが、2018年度に多くの会員が卒業してしまうという危機感を常に持ちながら、拡大運動をしていきました。結果12名という、今後の調布青年会議所の運動に必要な人材が、仲間に加わったことは大きな力となりました。本当に多くのメンバーを拡大することができたことに感謝申し上げます。

また、例会としては本年度3つの例会(共益事業)を瀧柳理事長から頂きました。今年のスローガンの言葉である「縦と横の繋がりを生かして」という理事長の想いをしっかり実行していけるように委員会メンバー全員で事業を構築していきました。結果、4月例会 シニアクラブ合同例会の開催では『縦のつながり』、7月例会 サマーカンファレンスではメンバー同士の『横のつながり』、12月例会 卒業例会では『縦と横のつながり』とスローガンの言葉にあるようにしっかりと実行できたのではないかと思います。

また今年初めて入会してきたメンバーをまとめあげ、新入会員に例会の運営をしっかりと指導しフォローした正副委員長にはあたまが下がる思いでした。自分ごとではありませんが卒業する最後の年に、これから青年会議所で運動していく新しい仲間に出会えたこと、一緒に絆を深めながら委員会を行えたことに感謝を申し上げます。

最後に1年を通して青年会議所の副理事長という役割を果たせたか、瀧柳理事長を支える事ができていたかということ、どうかはわかりませんが、自分的には充実した1年間でした。本当にありがとうございました。

専務理事 増田 健治

自分の中で理想とする専務像と向き合いながらの一年間でした。専務理事として抱える多くの仕事や作業に対し、自分なりの答えを日々考えながら務めて参りました。組織の枠組み的な部分においては、自分の得意分野であり、特に大きな問題も無く務め上げることが出来たかなと思っておりますが、組織の中身の部分や担当例会においては、至らぬ点が多々あったかと思えます。

特に公益制度に関する3月例会では、菅監事や副理事長の皆様にご多大なるご協力を頂き、ようやく例会の形を作り上げることが出来ました。瀧柳理事長が年度当初に掲げた3本柱の一つである公益制度。公益法人であることが当たり前のメンバーが年々増える中で、組織の根本である「青年会議所」の意義や在り方についての投げ掛けや、公益法人格との向き合い方に関して、ある一定の方向性を提示出来たことは、今後の調布JCにとって大きな意味のあることであったと考えております。これは理事長が長として掲げたからこそ出来たことであつたのではないのでしょうか。

最後に瀧柳理事長、この一年間色々ありましたね、お疲れ様でした。そして、任命頂きありがとうございました。

副専務理事 宮澤 学

本年度は副専務理事として、専務室内では増田専務の補佐、また総務委員会 2017 の担当として 1 年間 JC 運動を行ってきました。

専務室では例年の副専務としての仕事のうち、引率業務は自分が京都会議には参加出来ず、サマコンは 7 月例会となり、実際に仕事をしたのが全国大会埼玉大会だけでしたが、参加して頂いた皆様のおかげで LOM 参加として良い形となり、感謝しております。また、理事会運営等通常業務に関しては増田専務、峯水財務、そして理事役員の皆様に支えられて、拙い部分だけでしたがとにかく最低限の仕事は出来たのかな、と思います。

総務委員会 2017 の担当としては、年度当初に委員長が替わる、というイレギュラーな事態もありましたが、初理事、そして初委員長となった薄井委員長が持てる力を出し切るのを後ろで支える仕事でしたが、支えきれずに薄井委員長、総務委員会 2017 のメンバーには迷惑を掛けてしまったかな?とも思いますが、薄井委員長、委員会メンバーに助けられ、委員会担当としての仕事もどうか形になったかな、と思います。

皆様、本当にありがとうございました。

財務担当理事 峯水 延浩

会費が収入の大半を占める組織の財務会計運営は初めての経験でした。年度の終わりが近づき決算を迎えてようやく勝手がわかってきたような気がしています。今年度は例会事業費に大きく予算配分をしたため、費用の使いみちで事業構築に苦しんでいる委員会の姿もみえていましたが、財務としては事業がスムーズに実施できるようなるべく柔軟に対応させていただきました。

委員会を離れて全体を見る立場となり、其々の事業には議案書、予算書での関わりしかありませんが、一步下がった視点で俯瞰することができ、組織運営の面では良い経験をさせていただきました。

公益法人として財務基盤の整備が課題として残っています。様式を整えつつ、より効率的に会計処理が進められるよう、次年度以降もこの経験を活かして組織運営に協力していきたいと思っております。

一年間ありがとうございました。

監事 菅 寛人

2017 年度は瀧柳理事長の強いリーダーシップの下「調布の魅力を発信していこう」という事業計画で始まった一年でした。担当した理事の皆様は大変な努力と結束を持って事業を構築されたと思いますが、結果として理事長が想い描いていた形には、少々物足りない部分があったのではと感じます。その代わり、瀧柳理事長がもう一つ大切にしていた「内部の結束力を高めたい」という部分に関しては拡大委員会を中心に、大変な成果を残したのではと感じます。LOM 内では 2020 年の 50 周年&ブロック大会誘致への機運も高まる中、今後の組織として大きな一年になったであろうことを確信しております。次年度は本年度新入会員が初理事に多く就任されております。新しい考えを取り入れながら、調布 JC として大切なことを引き継いでいける組織であることを願いつつ、私も監事として微力ながら力になっていきたいと考えております。一年間お疲れ様でした。

監事 高橋 裕二

瀧柳理事長、増田専務理事一年と数ヶ月大変お疲れ様でした。今年度は総じて委員長副委員長が理事長所信を忠実に実現しようと努めていた印象があります。それは熱くて優しく大きな包容力のある理事長のリーダーシップと、緻密で計画的で誠実な専務のコンビネーションの賜物であったと思います。

一方でそれは理事長の期待を良い意味で大きく裏切ることが出来ないことも実感したのではないのでしょうか。本年度、日本青年会議所の運動では会頭の想いで全国を駆けずり回りました。2,100 人で構成されるこの組織では個の主張や 1 委員会での狙いなどは完全に度外視され、ただただ、日本の未来の為に信じて疑わず行動します。辛い時もありましたが、同じ想いで真摯に向き合う仲間にも恵まれ乗り切ることができ、事業に対する達成感はありませんが、いい経験でした。比べてみて分かったことですが、トップダウンのいわゆる作業はドーパミンが脳内に分泌されないため感動がないですね。そうするとその周囲にも感動が伝播されない。次へ繋がらないという悪循環になります。やはりボトムアップです。それを理事が受け止めて起案し、成功も失敗も共有する。シンプルが一番難しいですけど、「一人残らず機会の提供」これを来年に引き継ぎしてください。

いずれにしても、拡大の盛り上がりといい明日の調布の出来をみても、素晴らしい一年であったことを監事としてご報告させていただきます。

【 委 員 会 報 告 】

拡大委員会

委員長 遠藤 大貴

今年の入会数は 12 名でした。数字は普通ですが出席率と JC への興味喚起に重点を置きました。数を入れることも当然大事ですが、入会したメンバーが活発に運動することが本来の目的であると考えます。事業も 4 月例会のバスツアー、7 月例会のサマコンでの宿泊例会、12 月の卒業式と委員会メンバーが一丸となり取り組んだ結果、多くのメンバーの動員につなげることができたと自負しています。まずは自らが率先して楽しまないで JC に興味を持ってもらえるはずがなく、自分は入会した 2012 年がとても楽しくて、そういった想いを今年の新入会員に感じてもらえるような設えを心がけました。このように 2017 年が楽しかったという想いを今年の新入会員が理事を受けた際に、その時の新入会員へ同様に接してもらえれば幸いです。拡大担当の畑野副理事長がよく言うように義理人情（受けた恩は何かしらの形で返す、担当例会や委員会に来てもらったら、その人の例会には必ず参加する等）を大切に行動していただければ幸いです。一年間ありがとうございました

副委員長 佐保田 豊太

今年の拡大委員会は、本年度の調布青年会議所の核として展開できたと思っております。数多くの新入会員を遠藤委員長を中心にうまく引っ張り、一つになれました。特に今後の調布青年会議所の中心となっていくメンバーを多く発掘し教育できたことは、財産です。兎角私のやりたい事業をメンバーの意見を尊重しながら実行できたシニアクラブ合同の合同例会では、毎晩のように私のもとにメンバーが集い、作り上げたものでした。副委員長として事業をまとめていく中で、メンバーの協力の重要性を再度心から認識できた例会でもありました。個人としても多くの活発なメンバーと共に事業ができたこと、そして新任理事が多くいる理事会で 1 年間参加させていただいたことに合わせまして、縦と横の繋がりを意識して行動したこの拡大委員会の副委員長としての 1 年間は大きな財産になったと思います。皆に支えられて過ごした 1 年間でしたが大変勉強になりました。ありがとうございました。

副委員長 林 慎一郎

今年度は 12 月第二例会を主に担当させていただきました。新入会員の一人ひとりのポテンシャルの高さを感じながら一年間運動してまいりました。卒業例会のアトラクションでは、例会直前までなかなか内容が決まりきらない部分もありましたが、一年を通し築いてきた信頼関係を活かし、一気に纏め上げるチームワークは本当に素晴らしかったです。また、卒業生が 5 名と人数的には少なかったですが、その分、個人の熱い思いを聞かせてもらい、とても良い時間を過ごすことができました。

新任理事として不安も多かったですが、畑野副理事長、遠藤委員長、佐保田副委員長をはじめとするメンバーに助けていただきなんとか職を全うすることができました。この一年で感じたことを、2018 年度に引継ぎ青年会議所運動を行っていきたいと思います。一年間有難うございました。

委員会開催一覧

回	開催日	会 場	内 容	委員数	出席人数
1	1/12	事務局	4月例会について	15	14
2	2/2	事務局	4月例会について	16	11
3	3/2	事務局	4月例会について	17	11
4	4/6	事務局	4月例会について	17	12
5	5/2	事務局	7月例会について	18	13
6	6/1	事務局	7月例会について	18	14
7	7/6	事務局	7月例会について	18	14
8	8/3	事務局	12月第二例会卒業式について	18	14
9	9/7	事務局	12月第二例会卒業式について	18	14
10	10/5	事務局	12月第二例会卒業式について	18	14
11	11/2	事務局	12月第二例会卒業式について	18	14
12	12/7	事務局	12月第二例会卒業式について	18	15

青少年委員会

委員長 熊倉 亮

私は1年間、子供の成長という観点から調布の街を見るという立場を学ばせて頂きました。その中で、子供たちの為に様々な方々が活動をされている事を知り、調布の街、調布に住む人々が持つ力を知る事となりました。わんぱく相撲、ぼくみらなどの事業を行う中でもたくさんの人に支えられ、ともに学ぶ事でより調布の魅力を幅広いものにする事が出来たのではないかと考えます。

また、今年の青少年委員会はメンバーのネットワークがバランス良く機能した委員会でした。各々がそれぞれ仕事や地縁に精通しており、縦と横のつながりを活かし、とても多くの人たちへSNS等を通じて調布青年会議所の事業を知ってもらう事が出来た1年間だったと思います。

最後に1年間支えてくださった委員会メンバー、ひいては調布青年会議所メンバーの皆様に深く感謝と御礼を申し上げます。一年間ありがとうございました。

副委員長 志村 郷親

入会二年目、初理事として青少年委員会を仰せつかりましてあっという間に1年が終わりました。セクレタリー以外で出席したことがないスタッフ会や理事会、慣れていない議案作成や事業構築、本当に手探り状態で5月例会の「わんぱく相撲調布場所」の準備を進めていたのを昨日のように思い出します。少し慣れてきたころの10月例会は、当初予定していた日時が選挙の日程と被ってしまうというアクシデントに見舞われ開催が危ぶまれるというスリル満点の中準備する等、実にハラハラした1年を過ごしました。今こうして無事に2017年度を終えることができたのはメンバーに支えられ、それぞれが得意な分野で存分に能力を発揮してくれたことに他なりません。苦しいこともありましたが高年代の熊倉委員長と苦楽を共にしたこの1年は本当に掛替えのないものになったと思います。1年間本当にありがとうございました。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員数	出席人数
1	1/16	事務局	5月例会について	10	5
2	2/20	事務局	5月例会について	10	4
3	3/21	事務局	5月例会について	10	4
4	4/17	事務局	5月例会について	10	4
5	5/10	事務局	5月例会について	10	4
6	6/19	事務局	10月例会について	10	4
7	7/18	事務局	10月例会について	10	4
8	8/21	事務局	10月例会について	10	3
9	9/19	事務局	10月例会について	10	4
10	10/14	事務局	10月例会について	10	4
11	11/20	事務局	福祉まつり参画について	10	4
12	12/20	事務局	福祉まつり参画反省会	10	4

まち委員会 2017

委員長 渡邊 涼介

委員長として至らない点が多々ありながらも、両副委員長、両幹事、委員の皆様、副理事長に支えていただき、ようやくゴールまでたどり着きました。感謝しております。6月例会は、検討時のベストを尽くしましたが、後から考えると、より良い手法があったとも思います。11月例会は、大澤実行委員長の元、障害者福祉という大きな問題に真正面から取り組む例会になったと考えています。青年会議所は、2020年やその先に調布を担っていく人財を育てられる団体であり、今後のさらなる発展を祈念しております。

副委員長 大澤 宏章

二年目で卒業生という状況のもと、与えられたポストは全てお受けする精神で、まち委員会 2017 副委員長にはじまり、東京ブロック防災減災推進委員会・アカデミー研修委員会とバタータ部長、最後には調布青年経済人会議実行委員長という役職をお受けしたトライの連続の一年でした。自分自身の成長を第一に考えてのことでしたが、毎週違う会議に出席し、違う事業について考えているうちに、何度もやめてしまいたくなりました。特に6月例会と11月例会が重かったです。しかし、その度ごとに携わっている方々が支えてくれて、濃密な一年となりました。JCはまさに人づくりの組織であり、その人がまちをつくっていくのだと実感することができました。そして、JCはやらないことは問題がありますが、やりすぎて悪いことはひとつもないということもわかりました。

瀧柳理事長を筆頭に増田専務、高橋副理事長、渡邊委員長、加藤副委員長、理事役員の皆様、まち委員会 2017 メンバーの皆様、巴山塾長、粕谷幹事、遠藤バタータ前部長、そして調布 JC の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

副委員長 加藤 ゆか

初めての理事で至らないことだらけでしたが、渡邊委員長をはじめとするまち委員会 2017 のメンバーのおかげで1年無事に終えることができました。今までと違った目線で青年会議所運動について考えることができとても勉強となりました。1年間本当にありがとうございました。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員数	出席人数
1	1/16	事務局	・第1回委員会 6月例会について ・顔合わせ	12	10
2	2/6	事務局	・第2回委員会 6月例会について ・手法、目的の検討	12	8
3	2/20	事務局	・第3回委員会 6月例会について ・手法、目的の検討	12	9
4	3/6	事務局	・第4回委員会 6月例会について ・手法、目的の検討	12	8
5	3/21	事務局	・第5回委員会 6月例会について ・手法の検討	12	9
6	4/3	事務局	・第6回委員会 6月例会について ・手法の検討、役割分担決め	12	8

7	4/17	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第7回委員会 6月例会について ・各班からの進捗状況、予算振り分け 	12	8
8	5/8	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回委員会 6月例会について ・各班からの進捗状況、予算振り分け 	12	7
9	5/18	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第9回委員会 6月例会について ・各班からの進捗状況、予算振り分け 	12	7
10	6/12	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第10回委員会 6月例会について ・公開委員会開催 	12	7
11	6/19	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第11回委員会 ・備品確認 	12	8
12	7/3	商工会館	<ul style="list-style-type: none"> ・第12回委員会 6月例会について ・6月例会の総括 ・第1回青年経済人会議準備会 ・顔合わせ。これまでの経済人会議確認。 	12	7
13	7/18	商工会館	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回青年経済人会議準備会 ・実施組織、スケジュールの検討 	12	8
14	8/7	商工会館	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回青年経済人会議 ・設立趣意書読み上げ ・実施組織、スケジュールの確認 	12	8
15	8/21	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回青年経済人会議 ・手法の検討 	12	9
16	9/4	商工会館	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回青年経済人会議 ・手法の検討。役割分担。 	12	7
17	9/19	商工会館	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回青年経済人会議 ・各班からの進捗状況、予算振り分け 	12	9
18	10/2	商工会館	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回青年経済人会議 ・各班からの進捗状況、予算振り分け 	12	7
19	10/16	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回青年経済人会議 ・各班からの進捗状況 	12	8
20	11/7	商工会館	<ul style="list-style-type: none"> ・第7回青年経済人会議 ・各班からの進捗状況、予算振り分け 	12	7
21	11/16	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回青年経済人会議 ・備品確認 	12	10
22	12/4	華肴	<ul style="list-style-type: none"> ・青年経済人会議の反省会 	12	8

総務委員会 2017

委員長 薄井 麻希子

非常に辛い1年間でした。自身の事務処理能力の足りなさを含めて、メンバーの皆様にはご迷惑おかけしました。他委員会と違い、決して何かを達成する委員会ではなく、基本の設えと青年会議所の規定を一番知らなくては行けない委員会としては、委員長の自分が一番勉強不足でした。ですが、一番勉強になり青年会議所において成長した一年でもありました。

2018年度専務室が総務委員会の役割を担いますが、自身も専務室の一人として2017年度得た知識を引き継ぎたいと思います。

副委員長 粕谷 洋亮

入会以来初めての総務委員会でしたが、発送物の処理や総会の開催といった中々目立つことの無い委員会で、特に何か事業を作り上げるという事もなく、淡々と作業をこなすという事が多い一年ではありましたが、毎年こういった作業をしているメンバーがいて、わんぱく相撲等の大きな青年会議所運動があるという事を身をもって知った一年となりました。次年度は委員会としての総務委員会は無いようですが、専務室でしっかりと青年会議所の屋台骨ともいべきこの作業を担って頂ければと思います。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員数	出席人数
1	11/16	事務局	顔合わせ、前年度引継ぎ	9	6
2	12/6	事務局	2017年度 担当割り振り	9	3
3	12/26	事務局	発送作業	9	4
4	1/10	事務局	1月例会準備作業	9	5
5	1/23	事務局	2月例会打ち合わせ	9	4
6	2/6	事務局	2月例会準備	9	4
7	3/28	事務局	発送作業	9	4
8	4/25	事務局	あすの調布割り振り	9	4
9	5/29	事務局	発送作業	9	5
10	6/26	事務局	あすの調布割り振り	9	2
11	7/31	事務局	発送作業	9	4
12	8/28	事務局	9月例会打ち合わせ	9	4
13	9/25	事務局	9月例会準備	9	4
14	10/30	事務局	発送作業	9	5
15	11/27	事務局	12月総会打ち合わせ・準備	9	6
16	12/29	事務局	発送作業	9	1

理事長選挙管理委員会

委員長 清水 健太郎

理事の方々からお声がけをいただき、2017年度選挙管理委員会の委員長をつとめさせていただきました。本年は、私自身の入会年度のため、選挙自体も未経験であり、正に右も左も分からない状態でした。全ての面でサポートいただいた委員会の皆さまに、心より感謝申し上げます。

委員会は二回開催し、厳正なる審査等を経て、無事に2018年度の理事長を選出することができました。調布青年会議所メンバーの想いを背に、増田理事長のご活躍と、自らを灯火とするリーダーシップに期待しております。

第1回理事長選挙管理委員会

開催日時： 2017年7月4日(火) 20:00~21:00

開催場所： 事務局

出席者： 加藤ゆか、菅寛人、瀬瀬晶雄、清水健太郎、峯水延浩

会議内容：

1. 正副委員長の選出 清水健太郎（委員長）、瀬瀬晶雄（副委員長）
2. 選挙人名簿の確定
3. 理事長選挙細則の確認
4. 告知文書として、7月4日付けの理事長選挙告示（細則）と選挙人名簿の発送

第2回理事長選挙管理委員会

開催日時： 2017年7月22日(火) 15:00~15:30

開催場所： パシフィコ横浜 国立大ホール前

出席者： 加藤ゆか、菅寛人、瀬瀬晶雄、清水健太郎、峯水延浩

会議内容：

1. 立候補の受付状況の報告 増田健治君（立候補者）
2. 立候補者の資格審査
3. 当選者の認定 増田健治君（当選者）
4. 告示文書・履歴書及び青年会議所における経歴書・青年会議所に対する意見書の発送

その後の流れ

2017年7月27日 第7回理事会にて、可決

議案名「(公社)調布青年会議所2018年度 理事長選挙当選者承認に関する件」

2017年9月27日 臨時総会（9月例会）にて、可決

議案名「(公社)調布青年会議所2018年度 理事長選挙当選者承認に関する件」

2017年12月6日 臨時総会（12月第一例会）にて、可決

議案名「(公社)調布青年会議所2018年度 理事長承認に関する件」

褒賞委員会

委員長 峯水 延浩

褒賞委員会では、2017年度の理事メンバーより推薦を受け、厳正に審査を行いました。今年度は大変多くの推薦を頂き、ありがとうございました。委員会を上げて頑張るメンバーを応援する姿勢が垣間見えて頼もしく感じました。推薦理由にもメンバーの日頃の活躍が推薦者の熱い想いと共に記されておりました。多くの推薦を頂いた中で、当委員会でも様々な議論を重ねて選考を行ない、今年度の受賞者を下記の通り決定させて頂きました。

受賞された皆様の一層のご活躍を期待しております。

第1回褒賞委員会

開催日時： 2017年11月18日(土) 10:00~11:00

開催場所： 事務局

出席者： 瀧柳伸央、川端宏志、菅寛人、高橋裕二、峯水延浩

会議内容：

1. 正副委員長の選出 峯水延浩（委員長）、菅寛人（副委員長）
2. 褒賞内規の確認
3. 発送物の確認

理事メールにて案内文・褒章内規・申請用紙（Word形式）を配信、
提出先メールアドレスの宛先、委員長のメールアドレス

第2回褒賞委員会

開催日時： 2017年12月5日(火) 22:00~23:00

開催場所： 事務局

出席者： 瀧柳伸央、川端宏志、菅寛人、高橋裕二、峯水延浩

会議内容：

1. 推薦結果の報告と審査

褒賞発表及び授賞式

上記、第2回褒賞委員会において決定した褒賞対象者を、2017年12月10日(日)開催の12月第二例会（納会）内で発表し、賞状と記念品の授与を行いました。

【受賞者一覧】

- 最優秀 JAYCEE 賞： 大澤宏章君
- 優秀 JAYCEE 賞： 志村郷親君
- 優秀 JAYCEE 賞： 林慎一郎君
- 最優秀新人賞： 渡邊真也君
- 優秀新人賞： 山口隼平君
- 優秀新人賞： 田村慎太郎君
- 最優秀グループ賞： 拡大委員会
- 優秀グループ賞： まち委員会 2017
- 理事長特別賞： 磯邊隆君
- 理事長特別賞： 渡邊涼介君
- 優秀例会出席賞： 瀧柳君、川端君、高橋(秀)君、巴山君、畑野君、増田君、宮澤君、峯水君、菅君、高橋(裕)君、遠藤君、佐保田君、林君、鳩山君、渡邊(涼)君、大澤君、粕谷君、渡邊(真)君

	1月例会	2月総会	3月例会	4月例会	5月例会	6月例会	7月例会	9月例会	10月例会	11月例会	12月第一例会	12月第二例会		
月	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	12		
日	18	17	14	23	14	24	22	27	21	19	6	10		
	新書地域懇談会	定時総会	激論「このままでいいのか調布JC!」	瀬柳観光バスツアー	第31回わんぱく相撲調布場所	調布スポーツセンター△体験ツアー	サマーコンプレックス2017 in 調布	臨時総会	“ぼくらの未来”	調布青年経済人会議2017	臨時総会	卒業例会・納会		平均出席率
正会員数	53	53	54	54	55	56	56	56	56	56	56	56		55.1
出席者数	44	38	31	38	46	41	35	40	28	40	42	47		39.2
例会出席率	83%	72%	57%	70%	84%	73%	63%	71%	50%	71%	75%	84%		71%
スタッフ														
瀧柳 伸央	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
川端 宏志	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
高橋 秀幸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
巴山 勝済	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
畑野 政大	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
増田 健治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
宮澤 学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
峯水 延浩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
菅 寛人	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	92%
高橋 裕二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	公	○	○	12	100%
	10	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		
	100%	90%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		
拡大委員会														
遠藤 大貴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
佐保田 豊太	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
林 慎一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
鳩山 隆史	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
小林 達也	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	○	8	67%
清水 健太郎	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	11	92%
杉山 幸多	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	7	58%
納野 知広	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	11	92%
長谷 公人	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	9	75%
馬部 純一郎	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	10	83%
山口 隼平	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	10	83%
山田 亮平	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○	7	58%
渡邊 真也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
澤井 慧	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	10	83%
荒井 一宏			×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	8	67%
内野 幸治					○	×	○	○	×	○	○	○	6	50%
西村 啓佑						○	○	○	○	×	○	○	6	50%
	14	12	10	14	16	15	16	14	7	13	15	17		
	100%	86%	67%	93%	100%	88%	94%	82%	41%	76%	88%	100%		
青少年委員会														
熊倉 亮	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	11	92%
志村 郷親	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	11	92%
磯邊 隆	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	×	○	8	67%
直江 俊司	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	1	8%
井上 一格	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	3	25%
岡 洋輔	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	1	8%
巖瀬 晶雄	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	10	83%
志田 卓磨	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	○	4	33%
白鳥 伸一	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	9	75%
山崎 友裕	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0%
	5	7	3	6	7	4	2	5	4	4	4	7		
	50%	70%	30%	60%	70%	40%	20%	50%	40%	40%	40%	70%		

■ (公社) 調布青年会議所2017年度 正会員例会出席状況

凡例 ○:出席 ×:欠席 委:委任状 公:公務

	1月例会	2月例会	3月例会	4月例会	5月例会	6月例会	7月例会	9月例会	10月例会	11月例会	12月第一例会	12月第二例会		
月	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	12		
日	18	17	14	23	14	24	22	27	21	19	6	10		
	新春地域懇談会	定時総会	激論!このままでいいのか調布JCO!	瀧柳輝光バスツアー	第31回わんぱく相撲調布場所	調布スポーツツアーズ△体験ツアー	サマーコンファレンス2017 in 調布	臨時総会	“ほくらの未来”	調布青年経済人会議2017	臨時総会	卒業例会・納会		平均出席率
正会員数	53	53	54	54	55	56	56	56	56	56	56	56		55.1
出席者数	44	38	31	38	46	41	35	40	28	40	42	47		39.2
例会出席率	83%	72%	57%	70%	84%	73%	63%	71%	50%	71%	75%	84%		71%
まち委員会2017														
渡邊 涼介	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
大澤 宏章	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
加藤 ゆか	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	11	92%
米谷 慎太郎	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	×	×	7	58%
齊藤 定之	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	8	67%
石井 宏芳	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	2	17%
杉本 美喜雄	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0%
高木 隆	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	3	25%
田村 慎太郎	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	10	83%
原島 剛	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	8	67%
堀内 信宏	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	11	92%
	9	6	5	5	9	10	5	6	6	9	7	7		
	82%	55%	45%	45%	82%	91%	45%	55%	55%	82%	64%	64%		
総務委員会2017														
薄井 麻希子	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	11	92%
粕谷 洋亮	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
山田 啓二郎	○	○	×	○	○	×	×	○	×	○	○	○	8	67%
蓮井 一仁	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	6	50%
一志 浩平	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	○	5	42%
小池 武史	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	0%
境屋 奈央子	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	1	8%
佐藤 優	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	3	25%
	6	4	3	3	4	2	2	5	1	4	6	6		
	75%	50%	38%	38%	50%	25%	25%	63%	13%	50%	75%	75%		

公益社団法人調布青年会議所 2017年度

決算報告書

貸借対照表

正味財産増減計算書

正味財産増減計算書（内訳表）

財産目録

計算書類に付する注記

収支計算書

以下のとおりご報告申し上げます。

公益社団法人調布青年会議所 2017年度

理事長 瀧 柳 伸 央



専務理事 増 田 健 治



財務担当理事 峯 水 延 浩



貸借対照表

平成29年12月31日現在

公益社団法人調布青年会議所

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,044,847	2,107,612	-1,062,765
未収入金	519,555	556,580	-37,025
前払費用	250,000	250,000	0
流動資産合計	1,814,402	2,914,192	-1,099,790
2 固定資産			
(1) 特定資産			
周年事業特定預金	400,000	200,000	200,000
事務局取得資金特定預金	9,800,000	9,400,000	400,000
特定資産合計	10,200,000	9,600,000	600,000
(2) その他固定資産			
建物附属設備	814,590	947,250	-132,660
什器備品	303,633	488,485	-184,852
電話加入権	145,600	145,600	0
その他固定資産合計	1,263,823	1,581,335	-317,512
固定資産合計	11,463,823	11,181,335	282,488
資産合計	13,278,225	14,095,527	-817,302
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	86,201	164,128	-77,927
前受金	180,000	210,000	-30,000
流動負債合計	266,201	374,128	-107,927
負債合計	266,201	374,128	-107,927
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	13,012,024	13,721,399	-709,375
正味財産合計	13,012,024	13,721,399	-709,375
負債及び正味財産合計	13,278,225	14,095,527	-817,302

正味財産増減計算書

公益社団法人調布青年会議所

自：平成29年1月1日 至：平成29年12月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金			
新入会員入会金	330,000	250,000	80,000
② 受取会費			
正会員年会費	5,880,000	6,750,000	△ 870,000
賛助会員年会費	460,000	840,000	△ 380,000
③ 事業収益			
事業協賛金	610,000	400,000	210,000
事業登録料(参加費)	0	0	0
④ 受取負担金			
出向者負担金	167,250	218,750	△ 51,500
⑤ 雑収益			
受取利息収益	1,866	2,526	△ 660
その他雑収益	605,825	749,355	△ 143,530
経常収益計	8,054,941	9,210,631	△ 1,155,690
(2) 経常費用			
① 事業費			
旅費交通費	505,780	143,050	362,730
通信運搬費	609,593	594,742	14,851
減価償却費	314,680	276,203	38,477
消耗品費	2,650,810	1,963,090	687,720
印刷製本費	904,571	1,409,062	△ 504,491
水道光熱費	125,435	117,980	7,455
消耗什器備品費	103,690	14,864	88,826
賃借料(会場使用料等)	229,590	529,270	△ 299,680
賃借料(事務所家賃)	295,800	295,800	0
賃借料(倉庫置き場)	29,580	29,580	0
諸謝金	417,500	484,417	△ 66,917
雑費	422,486	213,365	209,121
② 管理費			
通信運搬費	6,446	6,420	26
減価償却費	2,832	2,832	0
消耗品費	1,477	54,812	△ 53,335
印刷製本費	631,521	410,273	221,248
水道光熱費	1,782	1,676	106
消耗什器備品費	1,473	212	1,261
賃借料(事務所家賃)	4,200	4,200	0
賃借料(倉庫置き場)	420	420	0
支払負担金	1,209,690	1,223,250	△ 13,560
慶弔費等	288,960	478,514	△ 189,554
貸倒損失	0	123,150	△ 123,150
雑費	6,000	3,031	2,969
経常費用計	8,764,316	8,380,213	384,103
当期経常増減額	△ 709,375	830,418	△ 1,539,793
当期一般正味財産増減額	△ 709,375	830,418	△ 1,539,793
一般正味財産期首残高	13,721,399	12,890,981	830,418
一般正味財産期末残高	13,012,024	13,721,399	△ 709,375
II. 正味財産期末残高	13,012,024	13,721,399	△ 709,375

	AO14986
法人名称	公益社団法人調布青年会議所

正味財産増減計算予算内訳表
平成29年1月1日から平成29年12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	内部取引 控除	合計
	公1 明るい豊かな社 会創造事業	小計	収1 共益事業	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取入会金	165,000	165,000	84,823	84,823	80,177		330,000
新入会員入会金	165,000	165,000	84,823	84,823	80,177		330,000
受取会費	3,170,000	3,170,000	1,629,633	1,629,633	1,540,367		6,340,000
正会員年会費	2,940,000	2,940,000	1,511,395	1,511,395	1,428,605		5,880,000
賛助会員年会費	230,000	230,000	118,238	118,238	111,762		460,000
事業収益	610,000	610,000	0	0	0		610,000
事業協賛金	610,000	610,000	0	0	0		610,000
受取負担金	0	0	0	0	167,250		167,250
出向者負担金会費	0	0	0	0	167,250		167,250
雑収益	933	933	480	480	606,278		607,691
預金利息	933	933	480	480	453		1,866
雑収入	0	0	0	0	605,825		605,825
経常収益計	3,945,933	3,945,933	1,714,936	1,714,936	2,394,072	0	8,054,941
(2) 経常費用							
事業費	4,894,579	4,894,579	1,714,936	1,714,936		0	6,609,515
旅費交通費	140,700	140,700	365,080	365,080			505,780
通信運搬費	517,574	517,574	92,019	92,019			609,593
減価償却費	285,379	285,379	29,301	29,301			314,680
消耗品費	1,949,587	1,949,587	701,223	701,223			2,650,810
印刷製本費	696,273	696,273	208,298	208,298			904,571
水道光熱費	105,844	105,844	19,591	19,591			125,435
消耗什器備品費	88,442	88,442	15,248	15,248			103,690
賃借料 (会場使用料等)	59,250	59,250	170,340	170,340			229,590
賃借料 (事務所家賃)	252,300	252,300	43,500	43,500			295,800
賃借料 (倉庫置き場)	25,230	25,230	4,350	4,350			29,580
諸謝金	417,500	417,500	0	0			417,500
雑費	356,500	356,500	65,986	65,986			422,486
管理費					2,154,801	0	2,154,801
通信運搬費					6,446		6,446
減価償却費					2,832		2,832
消耗品費					1,477		1,477
印刷製本費					631,521		631,521
水道光熱費					1,782		1,782
消耗什器備品費					1,473		1,473
賃借料 (事務所家賃)					4,200		4,200
賃借料 (倉庫置き場)					420		420
支払負担金					1,209,690		1,209,690
慶弔費等					288,960		288,960
雑費					6,000		6,000
経常費用計	4,894,579	4,894,579	1,714,936	1,714,936	2,154,801	0	8,764,316
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 948,646	△ 948,646	0	0	239,271	0	△ 709,375
当期経常増減額	△ 948,646	△ 948,646	0	0	239,271	0	△ 709,375
当期一般正味財産増減額	△ 948,646	△ 948,646	0	0	239,271	0	△ 709,375

【各事業に関連する費用額の配賦計算表(役員等の報酬・給料手当以外の経費)】

事業年度	自 29 年 1 月 1 日 至 29 年 12 月 31 日	法人コード	AO14986
		法人名	公益社団法人調布青年会議所

(上段:配賦の根拠数値、中段:配賦割合、下段:配賦額)(単位:円)

番号	科目名	各事業に関連する費用		配賦基準	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計
		費用の名称	費用の額		公1 明るい豊 かな社会 創造事業	小計	共益1	小計	
1	消耗品費	消耗品の購入	105,405	使用割合	88,645	88,645	15,283	15,283	1,477
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					88,645	88,645	15,283	15,283	1,477
2	印刷製本費	印刷機(プリンター)保守料・その他印刷代	95,674	使用割合	80,461	80,461	13,872	13,872	1,341
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					80,461	80,461	13,872	13,872	1,341
3	通信運搬費	電話・FAX及び郵送物の発送費用	460,360	使用割合	383,019	383,019	70,895	70,895	6,446
					83.2%	83.2%	15.4%	15.4%	1.4%
					383,019	383,019	70,895	70,895	6,446
4	消耗什器備品費	事務局備品購入費	105,163	使用割合	88,442	88,442	15,248	15,248	1,473
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					88,442	88,442	15,248	15,248	1,473
5	水道光熱費	事務局水道光熱費	127,217	使用割合	105,844	105,844	19,591	19,591	1,782
					83.2%	83.2%	15.4%	15.4%	1.4%
					105,844	105,844	19,591	19,591	1,782
6	雑費	事務所及び事務所経費	428,486	使用割合	356,500	356,500	65,986	65,986	6,000
					83.2%	83.2%	15.4%	15.4%	1.4%
					356,500	356,500	65,986	65,986	6,000
7	減価償却費	事務所内装設備	97,458	使用割合	81,962	81,962	14,131	14,131	1,365
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					81,962	81,962	14,131	14,131	1,365
8	減価償却費	給排水工事	19,374	使用割合	16,293	16,293	2,809	2,809	272
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					16,293	16,293	2,809	2,809	272
9	減価償却費	電気設備工事	15,828	使用割合	13,311	13,311	2,295	2,295	222
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					13,311	13,311	2,295	2,295	222
10	減価償却費	印刷機	69,422	使用割合	58,383	58,383	10,066	10,066	973
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					58,383	58,383	10,066	10,066	973
11	賃借料	事務所家賃	300,000	使用割合	252,300	252,300	43,500	43,500	4,200
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					252,300	252,300	43,500	43,500	4,200
12	賃借料	倉庫置き場	30,000	使用割合	25,230	25,230	4,350	4,350	420
					84.1%	84.1%	14.5%	14.5%	1.4%
					25,230	25,230	4,350	4,350	420
ページ 合計			1,854,387		1,550,390	1,550,390	278,026	278,026	25,971

財 産 目 録

平成29年12月31日現在

公益社団法人調布青年会議所

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
I 資産の部			
(流動資産)	現金	手持現金	398,403
	普通預金	マイنز農業協同組合調布支店	運転資金として 212,143
	普通預金	みずほ銀行調布支店	運転資金として 71,281
	普通預金	三井住友銀行調布駅前支店	運転資金として 219,139
	普通預金	三菱東京UFJ銀行調布支店	運転資金として 143,881
			【現金・預金計】
			1,044,847
	未収入金	受取会費	正会員年会費収入 120,000
		受取負担金	出向者負担金収入 23,150
		雑収入	管理目的に係る収入 260,000
		事業精算金	公1「明るい豊かな社会創造事業」 113,533
		事業精算金	「収益（共益）事業」 2,872
			【未収入金計】
		519,555	
前払費用	東京都調布市菊野台1-17-1	公益目的事業、共益事業、管理目的 の事務に使用している事務所家賃の 平成30年1月分～平成30年10月分家賃 【前払費用計】	250,000 250,000
流動資産合計			1,814,402

(固定資産) 特定資産	周年事業特定預金	「定期預金」 マインズ農業協同組合調布支店	特定費用準備資金としての積立金 公1「明るい豊かな社会創造事業」 実施のための積立金	400,000	
	事務局取得資金 特定預金	「定期預金」 マインズ農業協同組合調布支店	資産取得資金としての積立金 公益目的事業、共益事業、管理目的 の事務に使用する資産の取得資金	9,800,000	
その他 固定資産	建物附属設備	事務所内装設備		【特定資産計】 10,200,000	
			(共用財産)	471,047	
			うち公益目的保有財産84.1%	396,151	
			うち共益目的保有財産14.5%	68,304	
			うち管理目的の財源として使用 する財産1.4%	6,592	
		給排水工事	(共用財産)	189,071	
			うち公益目的保有財産84.1%	159,011	
		うち共益目的保有財産14.5%	27,416		
		うち管理目的の財源として使用 する財産1.4%	2,644		
	電気設備工事		(共用財産)	154,472	
				うち公益目的保有財産84.1%	129,913
			うち共益目的保有財産14.5%	22,399	
			うち管理目的の財源として使用 する財産1.4%	2,160	
	什器備品	カラープリンター	(共用財産)	150,416	
				うち公益目的保有財産84.1%	126,502
			うち共益目的保有財産14.5%	21,811	
			うち管理目的の財源として使用 する財産1.4%	2,103	
	電話加入権	土俵 042(485)9630 1基	(公益目的事業用財産)	153,217	
			(共用財産)	145,600	
				うち公益目的保有財産83.2%	121,139
				うち共益目的保有財産15.4%	22,422
			うち管理目的の財源として使用 する財産1.4%	2,039	
			【その他の固定資産計】	1,263,823	
固定資産合計				11,463,823	
資産合計				13,278,225	
II 負債の部					
(流動負債)	未払金	後納郵便、日本郵便(株)	公益目的事業・収益(共益)目的事業 及び管理目的の業務に使用する費用	26,340	
		印刷費、電気、電話他	公益目的事業・収益(共益)目的事業 及び管理目的の業務に使用する費用	59,861	
	前受金	新入会員入会金	【未払金計】	86,201	
			公益目的事業・収益(共益)目的事業 及び管理目的の業務に関する前受収入	180,000	
			【前受金計】	180,000	
流動負債合計				266,201	
負債合計				266,201	
正味財産合計				13,012,024	

計算書類に付する注記

1、重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産の減価償却方法は、定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理方法は、税込方式によっている。

2、前払費用明細

(単位：円)

資産の内容	支出額	支払年月日	支払効力期間	前期末帳簿価額	当期費用計上額	期末帳簿価額
事務局賃貸料	1,500,000	平成24年11月1日	平成24年11月1日～平成29年10月31日(60月)	250,000	250,000	0
事務局賃貸料	300,000	平成29年9月28日	平成29年11月1日～平成30年10月31日(12月)	0	50,000	250,000
合計	1,800,000			250,000	300,000	250,000

3、その他固定資産明細

(単位：円)

資産の種類	取得価額	事業供用日	耐用年数	償却率	前期末帳簿価額	当期償却額	期末帳簿価額	当期末償却累計額
建物附属設備								
事務所内装設備	974,580	平成24年11月1日	10年	0.1	568,505	97,458	471,047	503,533
給排水工事	289,170	平成24年11月1日	15年	0.067	208,445	19,374	189,071	100,099
電気設備工事	236,250	平成24年11月1日	15年	0.067	170,300	15,828	154,472	81,778
建物附属設備計	1,500,000				947,250	132,660	814,590	685,410
什器備品								
カラープリンター	347,112	平成27年3月12日	5年	0.2	219,838	69,422	150,416	196,696
土俵	345,600	平成28年5月15日	3年	0.334	268,647	115,430	153,217	192,383
什器備品計	692,712				488,485	184,852	303,633	389,079
電話加入権								
一基	145,600	不明	—	—	145,600	—	145,600	—
電話加入権計	145,600				145,600	—	145,600	—
合計	2,338,312				1,581,335	317,512	1,263,823	1,074,489

上記の他、以下の固定資産を帳簿価額ゼロ円にて使用している。

資産の種類	取得価額	当期末償却累計額	期末帳簿価額
倉庫	370,000	370,000	0
パイプ椅子他	85,974	85,974	0
合計	455,974	455,974	0

公益社団法人 調布青年会議所 2017年度収支計算書

平成29年1月1日～至平成29年12月31日

(単位:円)

I. 収入の部				
勘定科目 大 中 小	補正 予算額	決算額	増 減	備 考
1. 会費収入	7,021,500	6,507,250	-514,250	正会員会費収入 120,000×44人 5,280,000 新入会員会費収入 11人計 600,000 賛助会員会費収入 10,000×46口 460,000 日本JIC出向者負担金 20,000×5人 120,000 ブロック出向者負担金 3,150×14人 47,250
1. 会費収入	7,021,500	6,507,250	-514,250	
2. 入会金収入	450,000	330,000	-120,000	新入会員入会金収入 30,000×11人 330,000
1. 入会金収入	450,000	330,000	-120,000	
3. 事業収入	400,000	610,000	210,000	わんぱく相撲(協賛) 410,000 わんぱく相撲(新規のぼり作成) 200,000
1. 事業収入	400,000	610,000	210,000	
4. 預金収入	2,000	1,866	-134	
1. 預金収入	2,000	1,866	-134	
5. 雑収入	430,000	605,825	175,825	シニアクラブ郵送負担金 発送物 160,000 シニアクラブ名簿負担金 名簿作成費 100,000 その他(祝金等) 150,000 その他(自動販売機売上等) 148,032 その他(日本JICカード運付金) 47,793
1. 雑収入	430,000	605,825	175,825	
6. 積立金取崩収入	0	0	0	周年事業積立金 0
1. 周年事業積立金取崩収入	0	0	0	
1. 周年事業積立金取崩収入	0	0	0	
当期収入合計	8,303,500	8,054,941	-248,559	
前期繰越収入合計	2,290,064	2,290,064		
収入合計	10,593,564	10,345,005	-248,559	
II. 支出の部				
勘定科目 大 中 小	補正 予算額	決算額	増 減	備 考
1. 事業費	3,584,000	3,228,759	-355,241	
1. 給料手当	0	0	0	
1. 給料手当	0	0	0	
2. 文化まちづくり事業費	1,584,000	1,170,401	-413,599	
1. 諸謝金	50,000	0	-50,000	
2. 消耗品費	1,024,000	611,468	-412,532	
3. 通信運搬費	150,000	101,142	-48,858	
4. 印刷製本費	210,000	317,091	107,091	
5. 旅費交通費	50,000	140,700	90,700	
6. 賃借料	100,000	0	-100,000	
3. 産業経済事業費	200,000	151,245	-48,755	
1. 諸謝金	0	27,500	27,500	
2. 消耗品費	200,000	30,557	-169,443	
3. 通信運搬費	0	10,200	10,200	
4. 印刷製本費	0	77,738	77,738	
5. 旅費交通費	0	0	0	
6. 賃借料	0	5,250	5,250	
4. 青少年健全育成事業費	1,800,000	1,907,113	107,113	
1. 諸謝金	250,000	390,000	140,000	
2. 消耗品費	1,000,000	1,218,917	218,917	
3. 通信運搬費	50,000	23,213	-26,787	
4. 印刷製本費	250,000	220,983	-29,017	
5. 旅費交通費	100,000	0	-100,000	
6. 賃借料	150,000	54,000	-96,000	
5. 指導力等研究実践事業費	0	0	0	
1. 諸謝金	0	0	0	
2. 消耗品費	0	0	0	
3. 通信運搬費	0	0	0	
4. 印刷製本費	0	0	0	
5. 旅費交通費	0	0	0	
6. 賃借料	0	0	0	
2. 管理費	6,099,500	5,218,045	-881,455	2. 総会資料印刷費 82,080 2. 会員名簿作成代 548,100 2. 印刷機保守、カウンター料 95,674 3. 郵送料 460,360 4. 事務局備品購入費 105,163 5. LOM登録料等(日本JICへ払う) 102,050 5. 日本JIC基本金(日本JICへ払う) 45,000 5. 日本付加金 7,990×56人 447,440 5. 購読料 3,000×53人 159,000 5. 日本出向負担金 20,000×6人 120,000 5. 関東地区基本金(関東地区へ払う) 10,000 5. 関東付加金 500×56人 28,000 5. ブロック基本金(ブロックへ払う) 40,000 5. ブロック付加金 3,000×56人 168,000 5. ブロック出向負担金 3,150×15人 47,250 5. ブロック出向負担金 3,150×7人 22,050 5. アカデミー出向LOM負担金 3,150×7人 22,050 5. 公開討論会負担金 5000円×300円×53人 20,900 6. ネームプレート、バッジ購入費 58,100 6. 税理士顧問契約料 120,000
1. 事務費	3,319,500	2,679,167	-640,333	2. 倉庫置き場賃借料 30,000 2. 事務局賃借料 25,000×12ヶ月 300,000 4. 雑費 232,436 4. 事務局保険料 17,950
1. 消耗品費	770,000	0	-770,000	
2. 印刷製本費	620,000	725,854	105,854	
3. 通信運搬費	420,000	460,360	40,360	
4. 印刷製本費	100,000	105,163	5,163	
5. 負担金支出	1,243,000	1,209,690	-33,310	
6. 雑費	166,500	178,100	11,600	
2. 事務所経費	666,000	707,603	41,603	
1. 給料手当	0	0	0	
3. 賃借料	330,000	330,000	0	
3. 水道光熱費	160,000	127,217	-32,783	
4. 雑費	176,000	250,386	74,386	
3. その他の管理費	2,114,000	1,831,275	-282,725	1. 褒賞委員会費 48,000 1. 卒業記念品費(5名) 38,100 1. その他消耗品費 44,796 1. 事務局ごみ処理代 12,609 2. 新春地域懇談会 293,780 2. 公務費・その他(慶弔等) 288,960 2. 卒業式・納会例会 409,028 2. シニアクラブ合同例会の開催 276,986 2. メンバーの親睦を深め、メンバーの結束が深まる例会の開催 347,956 2. 公益制度について考える例会の開催 71,060
1. 消耗品費	264,000	143,505	-120,495	
2. 諸費	1,850,000	1,687,770	-162,230	
3. 積立金支出	600,000	600,000	0	
2. 周年事業積立支出	200,000	200,000	0	
2. 周年事業積立支出	200,000	200,000	0	
3. 事務局建設積立金支出	400,000	400,000	0	
3. 事務局建設積立金支出	400,000	400,000	0	
4. 予備費	310,064	0	-310,064	
1. 予備費	310,064	0	-310,064	
1. 予備費	310,064	0	-310,064	
当期支出合計	10,593,564	9,046,804	-1,546,760	
当期収支差額		1,298,201	1,298,201	
次期繰越収支差額		1,298,201	1,298,201	

公益社団法人 調布青年会議所 2017年度収支決算事業費内訳表

公益目的事業会計（明るい豊かな社会創造事業会計）						
2. 明るい豊かな社会創造事業（文化まちづくり事業）						
	あすの調布の発行	HPの改善・管理・更新	2019～2020年に向け調布の魅力、文化、伝統を発信する例会の開催	調布市福祉まつりへの参画		小計
諸謝金						0
消耗品費		293,652	292,850	24,966		611,468
通信運搬費		100,926		216		101,142
印刷製本費	267,505		49,586			317,091
旅費交通費			140,700			140,700
賃借料						0
合計	267,505	394,578	483,136	25,182		1,170,401
3. 明るい豊かな社会創造事業（地域産業経済発展事業）						
	青年経済人会議の実施					小計
諸謝金	27,500					27,500
消耗品費	30,557					30,557
通信運搬費	10,200					10,200
印刷製本費	77,738					77,738
旅費交通費						0
賃借料	5,250					5,250
合計	151,245					151,245
4. 明るい豊かな社会創造事業（青少年健全育成事業）						
	わんぱく相撲調布場所の開催	2019～2020年に向けて青少年が夢を抱く例会の開催				小計
諸謝金	80,000	310,000				390,000
消耗品費	974,733	244,184				1,218,917
通信運搬費	22,781	432				23,213
印刷製本費	129,487	91,496				220,983
旅費交通費						0
賃借料	54,000					54,000
合計	1,261,001	646,112				1,907,113
5. 明るい豊かな社会創造事業（地域を牽引する人材育成事業）						
						小計
諸謝金						0
消耗品費						0
通信運搬費						0
印刷製本費						0
旅費交通費						0
賃借料						0
合計	0	0				0

収益事業等会計（共益事業その他事業会計）						
	共益事業 シニアクラブ合同例会の開催	共益事業 メンバーの親睦を深め、メンバーの結束を高める例会の開催	共益事業 卒業例会・納会の開催	共益事業 新春地域懇談会の開催 (新年度の運動方針を発表する事業)	共益事業 公益制度について考える例会の開催	小計
諸謝金						0
消耗品費	155,386	76,000	310,248	106,454	37,852	685,940
通信運搬費	648			20,476		21,124
印刷製本費	23,752	5,076	22,680	119,510	23,408	194,426
旅費交通費	97,200	266,880			1,000	365,080
賃借料			114,200	47,340	8,800	170,340
合計	276,986	347,956	447,128	293,780	71,060	1,436,910

委員会別事業費内訳表（案）

	拡大委員会			青少年委員会		
	共益事業 シニアクラブ合同例会の開催	共益事業 メンバーの親睦を深め、メンバーの結束を高める例会の開催	共益事業 卒業例会・納会の開催	わんぱく相撲調布場所の開催	2019～2020年に向けて青少年が夢を抱く例会の開催	調布市福祉まつりへの参画
諸謝金				80,000	310,000	
消耗品費	155,386	76,000	310,248	974,733	244,184	24,966
通信運搬費	648			22,781	432	216
印刷製本費	23,752	5,076	22,680	129,487	91,496	
旅費交通費	97,200	266,880				
賃借料			114,200	54,000		
合計	276,986	347,956	447,128	1,261,001	646,112	25,182

まち委員会2017		
	2019～2020年に向け調布の魅力、文化、伝統を発信する例会の開催	青年経済人会議の実施
諸謝金		27,500
消耗品費	292,850	30,557
通信運搬費		10,200
印刷製本費	49,586	77,738
旅費交通費	140,700	
賃借料		5,250
合計	483,136	151,245

総務委員会2017				専務室
	共益事業 新春地域懇談会の開催 (新年度の運動方針を発表する事業)	HPの改善・管理・更新	あすの調布の発行	共益事業 公益制度について考える例会の開催
諸謝金				
消耗品費	106,454	293,652		37,852
通信運搬費	20,476	100,926		
印刷製本費	119,510		267,505	23,408
旅費交通費				1,000
賃借料	47,340			8,800
合計	293,780	394,578	267,505	71,060

監査報告書

1. 監査の実施

私たち監事 川端宏志、菅寛人は、2018年1月25日、公益社団法人調布青年会議所事務局において、公益社団法人調布青年会議所の2017年度の理事役員の職務、及び会計状況について監査を行いました。（監査対象期間：2017年1月1日から2017年12月31日まで）

その方法及び結果について、次のとおり報告致します。

尚、この監査においては、2017年度理事長 瀧柳伸央、専務理事 増田健治、財務担当理事 峯水延浩の3名が立ち会いました。

2. 監査の方法及びその内容

各監事は、役員及び会員等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めると共に、理事会その他重要な会議に出席し、役員及び会員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財務の状況を調査しました。

以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討致しました。更に、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討致しました。

3. 監事所見

監査の結果、監事の意見は次の通りです。

（1）事業報告等の監査結果

①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上のとおりご報告致します。

2018年1月25日

監 事 川 瑞 宏 太 (印)

監 事 菅 寛 人 (印)